

(様式第9)

国がん発第 625号  
平成20年

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立がんセンター中央  
国立がんセンター中央病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告  
記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	187人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	119人	101.3人	220.3人	看護業務補助	18人	診療エックス線技師	人
歯科医師	1人	人	1.0人	理学療法士	1人	臨床検査技師	44人
薬剤師	15人	10.5人	25.5人	作業療法士	人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	1人	その他	人
助産師	人	人	人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	1人
看護師	437人	5.2人	442.2人	臨床工学技士	1人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	人	人	人	栄養士	人	その他の技術員	8人
歯科衛生士	人	0.7人	0.7人	歯科技工士	人	事務職員	67人
管理栄養士	3人	2.2人	5.2人	診療放射線技師	35人	その他の職員	21人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	536.8人	人	536.8人
1日当たり平均外来患者数	997.6人	3.9人	1001.5人
1日当たり平均調剤数	5,614 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <del>無</del>	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <del>無</del>	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <del>無</del>	人
胎児心超音波検査	有・ <del>無</del>	人
インプラント義歯	有・ <del>無</del>	人
顎顔面補綴	有・ <del>無</del>	人
顎関節症の補綴学的治療	有・ <del>無</del>	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <del>無</del>	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <del>無</del>	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <del>無</del>	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・ <del>無</del>	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <del>無</del>	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <del>無</del>	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・無	0人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <del>無</del>	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <del>無</del>	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <del>無</del>	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <del>無</del>	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <del>無</del>	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <del>無</del>	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・ <del>無</del>	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・ <del>無</del>	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <del>無</del>	人
成長障害のDNA診断	有・ <del>無</del>	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <del>無</del>	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <del>無</del>	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <del>無</del>	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <del>無</del>	人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <del>無</del>	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <del>無</del>	人
神経変性疾患のDNA診断	有・ <del>無</del>	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <del>無</del>	人
重粒子線治療	有・ <del>無</del>	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <del>無</del>	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <del>無</del>	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <del>無</del>	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <del>無</del>	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <del>無</del>	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体塞素処理骨移植	有・ <del>無</del>	人
膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術	有・ <del>無</del>	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <del>無</del>	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <del>無</del>	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <del>無</del>	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <del>無</del>	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・ <del>無</del>	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <del>無</del>	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <del>無</del>	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <del>無</del>	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <del>無</del>	人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <del>無</del>	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・ <del>無</del>	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・ <del>無</del>	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <del>無</del>	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <del>無</del>	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <del>無</del>	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <del>無</del>	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <del>無</del>	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <del>無</del>	人
超音波骨折治療法	有・ <del>無</del>	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <del>無</del>	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <del>無</del>	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <del>無</del>	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <del>無</del>	人
膀胱水圧拡張術	有・ <del>無</del>	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <del>無</del>	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <del>無</del>	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・ <del>無</del>	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・ <del>無</del>	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・ <del>無</del>	人
骨移動術による関節温存型再建	有・ <del>無</del>	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・ <del>無</del>	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・ <del>無</del>	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <del>無</del>	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <del>無</del>	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・ <del>無</del>	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <del>無</del>	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・ <del>無</del>	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・ <del>無</del>	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・ <del>無</del>	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <del>無</del>	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・ <del>無</del>	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <del>無</del>	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	27人
カフェイン併用化学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	2人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	人
・多発性硬化症	人	・ウェゲナー肉芽腫症	人
・重症筋無力症	2人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	人
・全身性エリテマトーデス	2人	・多系統萎縮症	人
・スモン	人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	人
・再生不良性貧血	1人	・膿疱性乾癬	人
・サルコイドーシス	8人	・広範脊柱管狭窄症	人
・筋萎縮性側索硬化症	人	・原発性胆汁性肝硬変	3人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	1人	・重症急性膵炎	人
・特発性血小板減少性紫斑病	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	人
・結節性動脈周囲炎	人	・混合性結合組織病	人
・潰瘍性大腸炎	3人	・原発性免疫不全症候群	人
・大動脈炎症候群	人	・特発性間質性肺炎	1人
・ピュルガー病	人	・網膜色素変性症	人
・天疱瘡	1人	・プリオン病	人
・脊髄小脳変性症	人	・原発性肺高血圧症	人
・クローン病	1人	・神経線維腫症	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	人	・亜急性硬化性全脳炎	人
・悪性関節リウマチ	人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	人
・パーキンソン病関連疾患	5人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	人
・アミロイドーシス	1人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	人
・後縦靭帯骨化症	人	・副腎白質ジストロフィー	人
・ハンチントン病	人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	11回/週		
剖検の状況	剖検症例数	44 例	剖検率 13.1 %

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
進行性大腸がんに対する低侵襲治療法の確立に関する研究	森谷 亘皓	国立がんセンター 中央病院	1,000	補 委	厚生労働省 科学研究費
医療機関がん診療機能の客観的・第三者評価標準システムに関する開発研究	高上 洋一	国立がんセンター 中央病院	2,250	補 委	厚生労働省 科学研究費
相談内容の分析等を踏まえた相談支援センターのあり方に関する研究	若尾 文彦	国立がんセンター 中央病院	2,000	補 委	厚生労働省 科学研究費
がん対策における管理評価指標群の策定とその計測システムの確立に関する研究	島田 安博	国立がんセンター 中央病院	1,000	補 委	厚生労働省 科学研究費
地域に根ざしたがん医療システムの展開に関する研究	清水 研	国立がんセンター 中央病院	2,000	補 委	厚生労働省 科学研究費
がん医療の均てん化に資するがん医療に携わる専門的な知識および技能を有する医療従事者の育成に関する研究	勝俣 範之	国立がんセンター 中央病院	5,400	補 委	厚生労働省 科学研究費
がん医療の均てん化に資するがん診療連携拠点病院の機能強化に関する研究	高橋 正秀	国立がんセンター 中央病院	5,500	補 委	厚生労働省 科学研究費
成人T細胞白血病(ATL)に対する同種幹細胞移植療法の開発とそのHTLV-1排除機構の解明に関する研究	田野崎 隆二	国立がんセンター 中央病院	1,000	補 委	厚生労働省 科学研究費
切除可能胆道領域がんに対する補助療法の研究	小菅 智男	国立がんセンター 中央病院	13,860	補 委	厚生労働省 科学研究費
胃上部癌手術における脾合併切除の意義に関する研究	佐野 武	国立がんセンター 中央病院	10,000	補 委	厚生労働省 科学研究費
限局型小細胞肺癌に対する新たな標準的治療の確立に関する研究	田村 友秀	国立がんセンター 中央病院	12000	補 委	厚生労働省 科学研究費
治療関連合併症を減少させて同種造血幹細胞移植後の生存率の向上を目指す標準的治療法の開発研究	福田 隆浩	国立がんセンター 中央病院	16,100	補 委	厚生労働省 科学研究費
悪性リンパ腫に対する免疫化学療法の最適化による新たな標準的治療の確立	飛内 賢正	国立がんセンター 中央病院	3,000	補 委	厚生労働省 科学研究費
再発高危険群の大腸がんに対する術後補助療法の研究	森谷 亘皓	国立がんセンター 中央病院	5,500	補 委	厚生労働省 科学研究費
切除不能胆道がんに対する治療法の確立に関する研究	奥坂 拓志	国立がんセンター 中央病院	24,100	補 委	厚生労働省 科学研究費
大腸がん肝転移症例の術後補助化学療法に関する研究	島田 安博	国立がんセンター 中央病院	2,000	補 委	厚生労働省 科学研究費
再発小児固形腫瘍に対する塩酸ノゲタカンとイホスファミド併用療法の第I/II相臨床試験	牧本 教	国立がんセンター 中央病院	15,100	補 委	厚生労働省 科学研究費
再発等の難治性造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を用いた効果的治療法確立に関する研究	森 慎一郎	国立がんセンター 中央病院	18,100	補 委	厚生労働省 科学研究費
進行期難治性B細胞リンパ腫に対する大量化学療法を併用した効果的治療に関する臨床研究	渡辺 隆	国立がんセンター 中央病院	1,500	補 委	厚生労働省 科学研究費
進行卵巣がんにおける化学療法先行治療の確立に関する研究	勝俣 範之	国立がんセンター 中央病院	3,300	補 委	厚生労働省 科学研究費
原発不明がんの診断・効果的治療の確立に関する研究	河野 勤	国立がんセンター 中央病院	700	補 委	厚生労働省 科学研究費
神経芽腫におけるリスク分類にもとづく標準的治療の確立と均てん化および新規診断・治療法の開発研究	牧本 教	国立がんセンター 中央病院	4,000	補 委	厚生労働省 科学研究費
同種造血幹細胞移植治療の成績向上を目指した包括的臨床研究	高上 洋一	国立がんセンター 中央病院	8,000	補 委	厚生労働省 科学研究費
アレルツマブを用いたHLA不一致同種造血幹細胞移植療法の医師主導治験および造血幹細胞移植領域における医師主導治験発展のための研究	森 慎一郎	国立がんセンター 中央病院	500	補 委	厚生労働省 科学研究費
造血幹細胞移植におけるドナーの安全性と倫理的保護を確保したコーディネイトシステム構築に関する研究	金 成元	国立がんセンター 中央病院	1,913	補 委	厚生労働省 科学研究費

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
遺伝子多型検査によるテーラーメイド疼痛治療法の開発	下山 直人	国立がんセンター 中央病院	1,200	補 委 厚生労働省 科学研究費
乳癌患者における抗体療法の効果・副作用規定因子の探索	藤原 康弘	国立がんセンター 中央病院	10,458	補 委 厚生労働省 科学研究費
がんの高度専門医療施設において研究用に提供される試料及び情報を統合したバイオバンク構築と、その実証的活用に基づくがんの分子解析に関する研究	金井 弥栄	国立がんセンター 中央病院	10,000	補 委 厚生労働省 科学研究費
多施設共同研究に登録された白血病の検体収集と中央保存システムの確立	小林 幸夫	国立がんセンター 中央病院	500	補 委 厚生労働省 科学研究費
がん診断・治療両用高分子ミセルターゲティングシステム	濱口 哲弥	国立がんセンター 中央病院	2,400	補 委 厚生労働省 科学研究費
超早期がんの低浸襲で効果的、正確で安全な診断・治療用微細内視鏡機器装置及びその医療技術の開発に関する研究	小林 寿光	国立がんセンター 中央病院	7,155	補 委 厚生労働省 科学研究費
新たな手術用ロボット装置の開発に関する研究	土屋 了介	国立がんセンター 中央病院	8,000	補 委 厚生労働省 科学研究費
小児肉腫等に対する治療開発を意図した多施設共同臨床試験に関する研究(H17-チーム(小児)-若手-001)	牧本 敦	国立がんセンター 中央病院	3,396	補 委 厚生労働省 科学研究費
がん臨床研究基盤整備の均てん化を目指した個別医療機関基盤モデルの開発	藤原 康弘	国立がんセンター 中央病院	76,300	補 委 厚生労働省 科学研究費
小児肉腫等に対する治療開発を意図した多施設共同臨床試験に関する研究	牧本 敦	国立がんセンター 中央病院	24,000	補 委 厚生労働省 科学研究費
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索(H19-臨床試験-一般-013)	山崎 直也	国立がんセンター 中央病院	500	補 委 厚生労働省 科学研究費
早期乳癌へのラジオ波焼灼療法の安全性および有効性の評価	木下 貴之	国立がんセンター 中央病院	10,000	補 委 厚生労働省 科学研究費
転移性骨腫瘍に対する経費的ラジオ波凝固療法に関する研究	荒井 保明	国立がんセンター 中央病院	10,000	補 委 厚生労働省 科学研究費
利用者の視点に立った終末期医療と在宅医療のあり方とその普及に関する研究	牧本 敦	国立がんセンター 中央病院	900	補 委 厚生労働省 科学研究費
がん治療による副作用の緩和に関する統合医療の研究	下山 直人	国立がんセンター 中央病院	7,000	補 委 厚生労働省 科学研究費
有害事象に關与する薬物動態相互作用に関する研究	山本 弘史	国立がんセンター 中央病院	1,900	補 委 厚生労働省 科学研究費
医薬品の使用成績に基づく有効性、安全性の評価方法に関する研究	勝俣 範之	国立がんセンター 中央病院	400	補 委 厚生労働省 科学研究費
小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する研究	牧本 敦	国立がんセンター 中央病院	500	補 委 厚生労働省 科学研究費
臨床研究の倫理審査委員会登録制度調査に関する研究(H19-特別-指定-017)	藤原 康弘	国立がんセンター 中央病院	1,350	補 委 厚生労働省 科学研究費
がん情報ネットワークを利用した総合的がん対策支援とその評価の具体的方法に関する研究	若尾 文彦	国立がんセンター 中央病院	5,550	補 委 がん研究助成金
主要がんの全国登録に基づく患者情報の解析と活用に関する研究	淺村 尚生	国立がんセンター 中央病院	12,950	補 委 がん研究助成金
肺がんの要因と病態に関する研究	鈴木健司	国立がんセンター 中央病院	700	補 委 がん研究助成金
成人病難治性造血器腫瘍に対する非血縁者間の同種造血幹細胞移植法の確立に関する研究	森 慎一郎	国立がんセンター 中央病院	1,000	補 委 がん研究助成金
乳がん易罹患者の診断とそれに基づく予防に関する研究	北條 隆	国立がんセンター 中央病院	1,200	補 委 がん研究助成金
気道食道領域がんのリスクとアルコール代謝酵素との関連性とその臨床評価に関する研究	小田 一郎	国立がんセンター 中央病院	800	補 委 がん研究助成金

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
放射線治療における臨床試験の体系化に関する研究－安全管理と質の管理を含む－	今井 敦	国立がんセンター 中央病院	1,500	補委 がん研究助成金
進行膵・胆道がんに対する標準的全身化学療法法の確立に関する研究	奥坂拓志	国立がんセンター 中央病院	2,000	補委 がん研究助成金
各種がん免疫療法の開発と臨床的有効性の評価に関する研究	高上 洋一	国立がんセンター 中央病院	6,000	補委 がん研究助成金
低線量CTによる肺がん検診の効率化とその基準の作成に関する研究	土田敬明	国立がんセンター 中央病院	3,500	補委 がん研究助成金
良好な視機能温存を目標とした眼部悪性腫瘍の新しい集学的治療法の開発	鈴木茂伸	国立がんセンター 中央病院	3,500	補委 がん研究助成金
乳房温存療法切除断端の病理診断の標準化と術後観察の適正化に関する研究	明石定子	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委 がん研究助成金
抗悪性腫瘍薬治療を最適化するための臨床薬理学的研究	山本 昇	国立がんセンター 中央病院	1,200	補委 がん研究助成金
胃がんに対するリンパ節郭清を伴う腹腔鏡下手術と開腹手術との比較に関する研究	片井 均	国立がんセンター 中央病院	7,200	補委 がん研究助成金
小児横紋筋肉腫に対する中央病理診断および遺伝子診断にもとづく臨床試験の確立と新規治療開発に関する研究	川井 章	国立がんセンター 中央病院	1,500	補委 がん研究助成金
固形癌の骨髄・末梢血・リンパ節中における転移形成能を有する遊離癌細胞(Isolated Tumor Cell, ITC)の検出とその臨床応用	深川剛生	国立がんセンター 中央病院	4,000	補委 がん研究助成金
放射線治療期間の短縮に関する多施設共同臨床試験の確立に関する研究	加賀美 芳和	国立がんセンター 中央病院	7,800	補委 がん研究助成金
大腸がん肝転移の予知ならびに予防的治療に関する研究	藤田 伸	国立がんセンター 中央病院	7,050	補委 がん研究助成金
Stage I 食道がんに対する放射線・抗がん剤併用と手術単独療法の有効性の比較	井 垣 弘 康	国立がんセンター 中央病院	7,050	補委 がん研究助成金
ヘリコバクター・ピロリ感染による胃癌発症機序の解明と感染・再感染予防の研究	後藤田卓志	国立がんセンター 中央病院	800	補委 がん研究助成金
がん治療におけるIVRの技術向上と標準化に関する研究	竹内義人	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委 がん研究助成金
婦人科悪性腫瘍に対する新たな治療法に関する研究	笠松高広	国立がんセンター 中央病院	1,200	補委 がん研究助成金
低位直腸がん手術における肛門温存療法の開発に関する研究	森谷 宣 皓	国立がんセンター 中央病院	3,600	補委 がん研究助成金
食道腺癌の高危険群の同定および予防介入試験に関する研究	下田 忠 和	国立がんセンター 中央病院	6,050	補委 がん研究助成金
がん患者の支持療法・緩和療法の技術の向上及びその評価に関する研究	下山直人	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委 がん研究助成金
胆道膵悪性腫瘍の至適外科治療選択基準を確立するための術前総合診断能向上を目指した研究	島田 和 明	国立がんセンター 中央病院	7,900	補委 がん研究助成金
悪性黒色腫に対する新しい診療体系の確立に関する研究	山崎 直 也	国立がんセンター 中央病院	6,500	補委 がん研究助成金
分子基盤に基づく難治性リンパ系腫瘍の診断及び治療法の開発に関する研究	飛内賢正	国立がんセンター 中央病院	1,400	補委 がん研究助成金
抗腫瘍抗原ペプチド免疫療法の改良に向けた研究	平家勇司	国立がんセンター 中央病院	1,400	補委 がん研究助成金
がん組織の特異性を利用したドラッグデリバリーシステム(DDS)薬剤の基礎的・臨床的開発に関する研究	濱口 哲 弥	国立がんセンター 中央病院	3,500	補委 がん研究助成金



## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元又は委託元	補助元又は委託元
がん治療による口腔内合併症の予防法及び治療法の確立に関する研究	浅井昌大	国立がんセンター 中央病院	4,950	補委	がん研究助成金
がん放射線診断における患者被ばくの実態調査と放射線誘発がんリスク推定に関する研究	池田 恢	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委	がん研究助成金
局所療法適応外の幹細胞がんに対する経動脈的治療法標準化(手技を含む)の研究	荒井保明	国立がんセンター 中央病院	6,550	補委	がん研究助成金
高感受性悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	飛内賢正	国立がんセンター 中央病院	6,100	補委	がん研究助成金
呼吸器悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	田村友秀	国立がんセンター 中央病院	3,500	補委	がん研究助成金
消化器悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	白尾国昭	国立がんセンター 中央病院	9,800	補委	がん研究助成金
希少悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同試験	渋井 壮一郎	国立がんセンター 中央病院	12,900	補委	がん研究助成金
多施設共同研究の質の向上のための研究体制確立に関する研究	藤原康弘	国立がんセンター 中央病院	4,000	補委	がん研究助成金
難治がんの総合的な対策に関する研究	田村友秀	国立がんセンター 中央病院	78,933	補委	がん研究助成金
がん専門医療施設を活用したがん診療の標準化に関する共同研究	田村友秀	国立がんセンター 中央病院	11,800	補委	がん研究助成金
がん対策企画と情報発信の方法論に関する研究	若尾文彦	国立がんセンター 中央病院	2,000	補委	がん研究助成金
がん医療政策提言に向けた研究	藤原康弘	国立がんセンター 中央病院	1,000	補委	がん研究助成金
		国立がんセンター 中央病院		補委	
		国立がんセンター 中央病院		補委	
		国立がんセンター 中央病院		補委	
		国立がんセンター 中央病院		補委	
		国立がんセンター 中央病院		補委	
		国立がんセンター 中央病院		補委	
		国立がんセンター 中央病院		補委	
		国立がんセンター 中央病院		補委	
		国立がんセンター 中央病院		補委	
		国立がんセンター 中央病院		補委	
		国立がんセンター 中央病院		補委	
		国立がんセンター 中央病院		補委	

計 12  
合計  
112

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。